

国際宇宙ステーションに一番近い県 鹿児島

天文担当 内 祥一郎

種子島宇宙センターがある鹿児島は、「国際宇宙ステーション（ISS）に一番近い県」です。

宇宙飛行士が研究や実験を行うISSには、定期的に食料などの物資を補給する必要があります。この補給を日本では種子島宇宙センターから打ち上げられている補給機「こうのとりの」が行っています。



「こうのとりの」を載せて種子島宇宙センターから打ち上がるH-II Bロケット
長谷公園にて

ISSを見よう！

ISSは、新幹線の100倍以上、ライフル銃の10倍以上の秒速約8kmという高速で地球の周りを回っています。また、地上から約400km上空を飛んでいます。高いところを高速で移動しているので、地上から見るができなさそうですが、実は条件さえ揃えば鹿児島のどこからでもISSは見るができます。

ISSは自分で光を出しません。人工衛星と同じように、太陽の光を反射して光りますが、人工衛星よりもかなり明るく見えることがあります。それは、ISSの大きさがサッカー場と同じくらいあって多くの光を反射するためです。

見ることのできる時間帯は、日の入り後と日の出前それぞれ1～2時間ぐらいです。太陽の光を反射して光りますので、日中や真夜中に見ることができません。

また、同じ時間帯でも毎日見ることができ

るわけではありません。

「いつ」「どの方角に」見ることができるかは、JAXAのホームページ「きぼうを見よう」(<http://kibo.tksc.jaxa.jp/>)で確認してください。

ISSと飛行機の見え方の違い

ISSは高速で地球を回っているの、星と違い比較的速いスピードで移動して見えません。

同じように夜空を高速で移動して見えるのが「飛行機」です。

ISSと飛行機は、共に明るく光って見えますが、光り方が全く違います。

飛行機はライトを点滅させながら飛んでいますが、ISSは点滅せず、光ったままスーッと移動して見えます。

この違いを参考にして、ISSを探してみてください。

企画展のご案内

11月18日（土）～12月30日（土）、県立博物館別館（宝山ホール4階）では、企画展「国際宇宙ステーションに一番近い県 鹿児島」を実施します。

ISSや日本の実験棟「きぼう」の説明、県内各地で撮影されたISSの写真、ISSやロケットの撮影方法などを紹介します。是非お越しください。



桜島とISS
千貫平自然公園にて



開聞岳、池田湖とISS
大野岳にて



桜島上空を飛ぶH-II Bロケット
鹿児島市吉野にて